

# 第49回

# 昭和大学公開講座

昭和大学と品川区は、大学における教育・研究を社会に開放し、文化の向上と保健医療の推進を目指して、公開講座を開催しております。

本講座は、昭和大学が医学部・歯学部・薬学部・保健医療学部を擁する医系総合大学である特色を活かして「暮らしと健康」をメインテーマとし、開講するものです。

第49回公開講座では、「昭和大学における最新の医療」を副題とし、下記プログラムの内容を取り上げることと致しました。どうぞお気軽にご参加ください。

日	時間	回	テーマ	講師	講演要旨
5月10日(土)	午後1時00分 ～2時30分	1	<b>前立腺癌の最新治療</b> — 小線源治療から ロボット手術まで —	医学部 泌尿器科学講座 教授(員外) <b>深 貝 隆 志</b>	以前は日本では稀な疾患であった前立腺癌の患者数が近年、激増しています。この原因は生活様式の欧米化、世界でもまれに見る高齢化社会、診断技術の進歩などが挙げられますが、いずれにせよ高齢男性は常に前立腺癌に対して注意を払わなければいけない時代となっております。今回の講座では前立腺癌はどのような病気であり、どのように診断するかに加え、昭和大学病院で過去10年間に取り組んできた前立腺癌の最新治療について説明したいと思います。
	午後2時30分 ～4時00分	2	<b>不老革命</b> — 寿命を伸ばす抗酸化物質 —	薬学部 創薬分子薬学講座 薬品製造化学部門 教授 <b>福 原 潔</b>	癌や認知症などの生活習慣病の心配もなく、死を迎える瞬間まで元気で生き生きと暮らすためにはどうしたらよいのでしょうか？ 今、医学は病気を治すという早期発見・早期治療から、病気にならないようにする領域へと大きく踏みだそうとしています。本講演では病気や老化の原因となるフリーラジカルの正体と、フリーラジカルから身を守る医学的に裏付けされた抗酸化物質について分かりやすく説明します。また、私達に取り組んでいる抗酸化物質の開発研究についてもご紹介いたします。
5月24日(土)	午後1時00分 ～2時30分	3	<b>乳がんの診断と治療</b> — 最近の話題より —	医学部 外科学講座 乳腺外科学部門 教授 <b>中 村 清 吾</b>	日本人女性の間で、最近右肩上がりに増えている乳がん。今回は、乳がんの診断と治療をテーマに、以下の疑問について分かり易くお答えします。 ・乳がんの発症予防はどこまで可能か？ ・乳がんの早期発見のために、どのような検診を受ければよいか？ ・遺伝性乳がん・卵巣がんとは？ ・乳がんの治療薬開発は、どこまで進歩しているか？ ・乳がんの根治を目指すチーム医療とは、どこまで成熟しているか？
	午後2時30分 ～4時00分	4	<b>出生前診断の現状と課題</b>	医学部 産婦人科学講座 教授 <b>関 沢 明 彦</b>	わが国では出産の高年齢化が進み、35歳以上の高年女性の分娩が25%を超えています。当然、ダウン症候群をはじめとする染色体疾患を心配し、出生前診断を希望する妊婦さんも増加しています。さらに、2013年4月から臨床研究として始まった「母体血胎児染色体検査」などもあり、出生前診断に対する社会的な関心は高まっています。科学技術の進歩に伴い、出生前にわかる疾患は急速に増えてきており、今後も増えていくと思われれます。本セミナーでは出生前診断の現状と今後の課題について解説します。